

原田病院外来診察担当表 (平成28年2月1日~)

●診察時間 午前9時~午後12時 午後4時~午後6時

☆当院では待ち時間短縮のため午前中の診察は予約制となっております☆

□一般内科外来 □糖尿病外来 □泌尿器科外来 □整形外科外来 □慢性腎臓病(CKD)外来 □在宅血液透析(HHD)外来

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午 前 外 来	1診 重本	山下和臣	重本	西澤	山下和臣	重本
	2診 竹内	西澤	水入(腎臓内科)	水入(腎臓内科)	山下秀樹	山下和臣
	3診 藤井(血液内科)	大下	永野	小野	大下	倉脇
	4診 DM 内藤	内藤	内藤	原田	原田	堀江
	5診 整形外科 石田	石田	石田	浅井(内科)	石田	佐々木
	6診 初診 倉脇	永野/浅井	原田	永野	小林	竹内
	7診 佐々木	藤田(泌尿器科)	小笠原	堀江	藤田(泌尿器科)	泌尿器科(広大)
放射線科						
午 後 外 来	1診 石根、樋口	石根	石根、広大	石根、樋口	石根、広大	樋口、広大
	16:00~18:00 永野	16:00~18:00 小林	15:00~18:00 碓井	16:00~18:00 浅井	16:00~18:00 倉脇	16:00~18:00 小笠原
	専門外来(14:30~16:30)(不定期) 呼吸器 濱田	専門外来(14:30~16:00)(第1火曜日) 循環器 木原	専門外来(14:00~16:00) CKD 水入	専門外来(16:00~18:00) 血液内科 三原	専門外来(14:00~16:00) CKD 水入	専門外来(14:30~16:00) 呼吸器 濱田
	16:00~17:00 山下秀樹	専門外来(14:20~16:00) 禁煙外来 内藤	16:00~17:00 小野	専門外来(16:30~18:00) HHD 西澤	専門外来(14:00~15:00) 特定健診 堀江	—
	専門外来(14:00~15:00) 禁煙外来 内藤	専門外来(13:00~16:00) フットケア 原田	16:00~17:00 大下	専門外来(14:00~15:00) 特定健診 佐々木	専門外来(16:00~18:00) 循環器 竹内	—
	放射線科					
	石根	石根	石根	石根	石根	樋口

※手術・救急・学会などにより担当医が予告なく変更になることがあります。



周辺地図



原田病院 院長 重本 憲一郎

〒731-5134 広島市佐伯区海老山町7番10号
TEL 082-923-5161 FAX 082-921-8035

一陽会クリニック 院長 碓井 公治

〒731-5133 広島市佐伯区旭園10番3号
TEL 082-924-0033 FAX 082-924-0037

イーストクリニック 院長 有田 美智子

〒732-0814 広島市南区段原南1丁目3番53号 広島イーストビル6F
TEL 082-506-0123 FAX 082-567-7115

横川クリニック 院長 藤田 潔

〒733-0011 広島市西区横川町2丁目7番19号 横川メディカルプラザ3F
TEL 082-231-0111 FAX 082-231-0155クローバー訪問看護ステーション 所長 大泉 淳
クローバー居宅介護支援事業所 所長 平田 恵美〒731-5133 広島市佐伯区旭園5番58号
TEL 082-925-6222 (訪問看護) 082-925-6221 (居宅介護)
FAX 082-925-6223 (共通)ケアレジデンス樂々園 施設長 大脅戸美代子
デイサービス樂々園 所長 西 幸子
クローバーヘルパーステーション 所長 甲斐 憲一郎〒731-5136 広島市佐伯区樂々園3丁目14番3号
TEL 082-943-8686 (ケアレジデンス樂々園)
082-943-8585 (デイサービス樂々園)
082-943-7088 (ヘルパーステーション) FAX 082-943-8588 (共通)

あさひメディコ

グランホームあさひ 施設長 日高 直美
デイサービスあさひ 所長 畑 千恵〒731-5133 広島市佐伯区旭園9番31号
TEL 082-943-7773 (グランホーム)
082-943-8610 (デイサービス) FAX 082-943-8600 (共通)

発行 一陽会広報委員会

〒731-5134 広島市佐伯区海老山町7番10号
TEL 082-923-5161(代) FAX 082-921-8035
ホームページ <http://www.icy.or.jp> E-mail info@icy.or.jp (一陽会 広報室)
ご意見ご質問があれば上記の一陽会広報室までご一報ください。あさひ
一陽会広報誌平成28年
冬号
vol.49

題名「白い恋人たち」

撮影：医事課 田中亞弥

一陽会 基本理念

- 1 愛情ある奉仕の心を以って地域医療・介護に貢献する。
- 3 誠心と創意工夫を以ってその職責を全うする。

2 和衷協同して技術の向上と人格の形成に努める。

一陽会職員は、「愛・和・誠」を是訓として、日々の診療にあたっております。

患者さまの権利

- 1 患者は人としての尊厳を維持する権利を有します。
一陽会職員は患者のプライバシーの保護に努め、患者により選択された医療の提供を行います。
- 2 患者は納得できる医療を受ける権利を有します。
一陽会は患者に必要な情報提供と説明を行い、インフォームドコンセント(納得診療)を適切に行います。
- 3 患者は医療機関の選択の自由の権利を有します。
患者にはいかなる治療段階においても他の医師等の意見をもとめる権利(セカンドオピニオン等)があり、一陽会はこれを支援します。

原田病院 基本方針

- 1 地域ニーズに応える地域密着型の病院をめざす。
すなわち、高齢化が進む今日、高齢者の急性期医療を担うという当院の役割を明確にする。その為に、病診・病病連携を密にし、紹介患者の受け入れ、及び回復後の逆紹介を励行する。
- 2 医療、介護、福祉の関連機関と協力して、在宅医療を支援・推進する。
また医療の質を高めることにより早期社会復帰、平均在院日数の短縮をはかり、急性期病院を維持する。
- 3 脅疾患、糖尿病、透析を中心とした急性期医療を提供する。
特に透析医療では、当地区において中心的役割を果たすよう努力する。
- 4 患者中心の医療を目指す。
すなわち患者の権利、尊厳、利益、希望を尊重した医療を実現するため、相談窓口、検討機関を広く設け、積極的に実施する。

原田病院増築工事のお知らせ

この度、原田病院では病院機能を高めるため、下記のとおり建物を増築するとともに、既存部分を改修する計画を立て、2月18日着工いたしました。

工事期間中は駐車場が利用できなくなるため、臨時駐車場として近隣の市所有地を借用し補う予定です。

工事概要

建築場所 広島市佐伯区海老山7番10号（右図参照）
概要 鉄骨造 地上3階建
予定期 平成28年2月18日～平成28年11月末日
(改修工事期間を含みます)

臨時駐車場概要

場所 広島市佐伯区海老園2丁目985番地
他（右図参照）
利用期間 平成28年2月18日～平成28年11月（予定）

皆さまには何かとご不便をおかけしますが、ご理解と協力をお願い申しあげます。



ポジショニング研修会

日本赤十字広島看護大学 特任教授 迫田綾子先生をお招きし、「誤嚥を予防する食事時のポジショニングと食事介助」について研修会を開催しました。

ポジショニングは、クッションなどを利用して姿勢を調整することで、筋緊張の緩和・体圧の分散・安定した体位の保持・動作の支持を図ることを目的としています。食事時に使うことで、身体の体幹を安定させ全身で食事をする構えをつくりだし、食欲を促し、生理機能を活発化させ、消化吸収を促進させることができ、嚥下しやすく、誤嚥を軽減、防止する効果があります。

日常ケアや介護ケアの際に少し意識して行動することで、不快軽減や食べやすさも大きく変わりますので、是非心がけてみて下さい。

詳しくは、原田病院 NST（栄養サポートチーム）までお問い合わせください。

NST 管理栄養士 山崎 晃子



近隣医療機関のご紹介 | たけだ内科循環器クリニック (佐伯区五日市中央)

「日々の健康管理から在宅医療までトータルな医療を提供いたします」
今回は佐伯区五日市中央にあります、たけだ内科循環器クリニックのご紹介です。

外科・胃腸科として開業して35年が経過しました。4年前からは内科を新たに標榜して医師2人で診療を行っております。

当院では内科・外科全般の診療を行っています。中でも循環器疾患が専門分野ですので胸の痛み・不整脈・高血圧などの診療には力を入れており、心エコーなど24時間心電図等の検査もすぐにできる体制となっています。また生活習慣病の管理やがん検診等も行っており、特に経鼻内視鏡は負担の少ない検査方法として喜んでいただいております。

最近では在宅医療を積極的に行っており、定期的な訪問診療、緊急時の往診、ご自宅での看取りまで幅広く対応しております。

原田病院さんには急な診察や入院をお願いすることがあります。いつも迅速に対応していただき、大変助かっております。

今後も地域の医療や介護に貢献していきたいと考えておりますので、お困りのことがありましたらお気軽にご相談ください。

たけだ内科循環器クリニック
院長 竹田 亮



たけだ
内科循環器
クリニック

内科・循環器内科・糖尿病内科
消化器内科・整形外科
TEL: 082-923-7333 FAX: 082-922-0819
受付時間: 9:00～12:30 / 15:00～18:30
休診日: 日曜日・祝日
電話: 082-923-7333



院長 竹田 亮先生 理事長 竹田眞圓先生



横川クリニック 患者さま休憩室拡張



横川クリニックでは、このたび透析患者さま用の休憩室と更衣室を、これまでの約2倍近い広さに拡張いたしました。広々としたスペースで、治療開始前の一時、患者さま同士の歓談・休憩などにご利用ください。





糖尿病看護について



原田病院 外来
糖尿病看護認定看護師 庄子千鶴満

原田病院の外来で糖尿病看護に携わる看護師は、フットケア外来で糖尿病患者さまの足のケアを行っています。その際、患者さまは色々な思いを語ってくださり、多くを学ぶことができます。

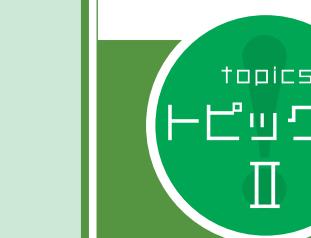
今まで糖尿病とどんな風に付き合ってきたのかを伺うと、ほとんどの方が「何で今まで医者の言うことを聞いてこなかったんだろう」「こうなったのは、ほかの誰でもない、自分のせいだ」「結局は自分の弱さですよね」と言われます。糖尿病による合併症を発症し、それが不可逆的なものであり、後悔と自責の念を持たれている姿をみると、私たち医療従事者の指導の在り方について考えさせられます。

糖尿病の療養に熱心になれなかつた理由をお訊ねすると、自分の体のことよりも仕事や家族のお世話などを優先したり、自覚症状に乏しいことから重大性を認識できていなかつたという理由が大半です。その方の生活歴や糖尿病独特の慢性性などを丸ごと受け入れると、患者さまへの見方が変わってきます。それを私たち医療者側のフィルターを通して「やる気がない」「病識がない」と見てしまうと患者さまの本当の思いや、ひそかに行っている行動を見逃してしまいます。すると信頼関係が築けず、私たちの言葉は一方的となってしまい、相手に伝わらないという結果に陥ってしまいます。

そこで私が糖尿病看護で大切にしていることは、患者さまの言葉のありのままを

「引き受ける」ということです。少し前までは「口ではやる気があるように言っているけど、行動が伴わないし、どこまでが本気なのだろう」と思うことがしばしばありました。どんな言葉もありのままに「引き受ける」ことを意識することで、医療者のフィルターをなくすことができ、「糖尿病患者」ではなく、人生の中で糖尿病という「病(やまい)」を抱えてしまったその人として見ることを意識できます。

そうすると患者さまは、安心されるのでしょうか、たくさん語ってくださいます。心の中で、色々な思いが交錯していることがわ



第19回 日本アクセス研究会

日時：2015年9月12～13日

場所：広島国際会議場

【演題】

エコーバイド下穿刺の導入

医療法人一陽会 一陽会クリニック
血液净化部¹⁾、看護部²⁾、医局³⁾

木谷博之¹⁾、多川和宏²⁾、昌木秀介¹⁾、廣兼美佐子²⁾、
山形智子²⁾、森田直美¹⁾、藤川 博²⁾、本丸忠生¹⁾、
丹治知恵³⁾、碓井公治³⁾

【目的】

当院では2014年7月から穿刺困難患者に対しエコーバイド下穿刺を実施している。今回は、エコーバイド下穿刺の成功率を集計し、導入前後月別再穿刺率推移の比較を行い、現状と課題を明らかにする。

【方法】

2014年7月から2015年5月までのエコーバイド下穿刺の患者リストの記録を振り返り、成功率を集計した。また、2012年12月から2015年5月までの再穿刺率を集計し、エコーバイド下穿刺導入前後での月別再穿刺率の比較を行った。

【結果】

エコーバイド下穿刺187件中A側成功率89%、V側97%であった。再穿刺率は、エコーバイド下穿刺導入前の2013年11月は1.65%、導入後の2015年4月は0.71%であった。エコーバイド下穿刺でエコーを扱えるスタッフは38名中8名であった。

【考察】

エコーバイド下穿刺を導入し、再穿刺率は低減した。連続的な再穿刺患者や血管が深く、触知が困難な患者に対してエコーバイド下穿刺は有効であった。エコーを扱えるスタッフ8名が常駐しているとは限らず、エコーを扱えるスタッフ育成の必要性があった。

【結論】

穿刺困難患者に対してのエコーバイド下穿刺は有用である。今後は、エコーバイド下穿刺でエコーを扱えるスタッフの育成が急務である。

方法

エコー機2台を使用し、穿刺者とエコーオペレーター2人による長軸法を中心としたエコーアクセスを実施し、エコーバイド下穿刺導入前後での月別再穿刺率の比較を行った。



一陽会クリニック

エコーアクセスの手順

- ①エコー装置をセッティングする
- ②エコーで穿刺血管の確認を行いプローブの位置をマーキングする
- ③プローブに滅菌フィルムを貼る
- ④エコーオペレーター、穿刺者の2人で穿刺開始

一陽会クリニック

結果



考察

- ・エコーアクセスを導入し、視認下での穿刺が可能となり穿刺困難患者の再穿刺率は低減した。
- ・エコーを扱えるスタッフが各クールで常駐しているとは限らず、エコーを扱えるスタッフ育成の必要がある。
- ・当院では長軸法を中心として使用しているが、血管描出が容易な短軸法を中心で行う方法の導入も検討する必要がある。

一陽会クリニック

結論

- ・穿刺困難患者に対してのエコーアクセスは有用である。
- ・今後はエコーアクセスでエコーを扱えるスタッフの育成が急務である。

一陽会クリニック

「事務部トピックス Vol.2」

つり銭機の導入について

原田病院では、従前より会計窓口でポスレジおよびバーコードを利用していましたが、平成23年より会計窓口での患者さまの待ち時間短縮を目的として、そのシステムに付随した“つり銭機”を一台導入していました。

つり銭機は大型スーパーなどでよく見かけるシステムで、まず、請求書兼領収書のバーコード部分をバーコードリーダーにかざしポスレジに読み取り、預り金をつり銭機に投入すると自動でつり銭が出てくるシステムで、現在では一部の医療機関にも導入されています。

つり銭機導入後は、業務スピードが向上し会計窓口での患者さまの待ち時間は、導入前に比べて短縮はしましたが、混雑時はつり銭機が1台しかいため待ち時間短縮には十分とは言えませんでした。

そこで、今年1月よりつり銭機をもう1台導入し、混雑時は会計窓口を2名で対応することとしました。導入後は、患者さまの会計窓口での待ち時間短縮に寄与できると考えております。

医療サービス課 宮田 敏郎



ポスレジ用バーコードリーダー



つり銭機

健康フェア 御礼

昨年11月29日(日)“支えます♡あなたのうちで、あなたの健康(しあわせ)”をテーマに原田病院で開催した「第26回健康フェア」は来場者673名と、大盛況のうちに幕を閉じることができました。皆さま、ご来場誠にありがとうございました。

今年も11月頃に開催する予定ですので、その際にはふるってご参加くださいますようお願いいたします。

なお、バザー等の収益金は佐伯区社会福祉協議会さま、および腎友会さまに全額寄付させていただきました。



Column いきいさん

第33回 診療情報管理室 梶原志織



質の高いデータを提供できるよう精進します。

H21年に入職し、原田病院診療情報管理室で勤務しております。診療情報管理室では診療録の保管・管理、疾病分類、DPC関連(コーディング・データ作成)業務を行っています。入職時、DPC初心者であつたため制度を一から学び、理解するまでに時間がかかりました。今では、日々診療録を確認し、正確で詳細な病名を付与し、適切なデータ作成を心がけています。とてもやりがいのある仕事です。

現在、2歳の娘を一陽会の保育園に預けています。働きやすい環境が整備され、皆さまのご協力もあり、今まで通り働くことができています。

診療情報はいのちの記録であり、診療情報管理を担う一員として精度向上と質の高いデータを作成できるよう精進して参ります。今後ともよろしくお願ひいたします。



健 康 レ シ ピ

小松菜と牛肉の炒め物

みなさん、毎日カルシウムは摂取できていますか?日本人のカルシウム摂取水準は低く、カルシウムは不足しがちな栄養素のひとつです。日本

本人の食事摂取基準(2015年版)では、カルシウムの推奨量は成人女性では一日に650mg、成人男性では650~800mgとなります。カルシウムが不足してしまうと、骨密度が低下し、骨粗しょう症といった病気を引き起こす原因のひとつになります。

そこで、おいしくカルシウム摂取できる1品、小松菜と牛肉の炒め物を紹介します。



《材料(1人前)》

小松菜 50g(約1/6束)
牛カタ肉 50g
まいたけ 30g(1/3パック)
たまご 20g(1/2個)
しょうゆ 4g(小さじ2/3)
みりん 2g(小さじ1/3)
片栗粉 少々
油 適量

《作り方》

- ①卵は炒り卵を作つておく。小松菜は約4cm幅にざく切りにする。牛肉は適当な大きさに切り、まいたけはほぐしておく。
- ②フライパンに油を熱し、牛肉を炒め、肉の色が変わつたら、まいたけ、炒り卵、小松菜を加え、炒め合わせる
- ③調味料で味をととのえ、最後に水溶き片栗粉でとろみをつける

小松菜は冬が旬の野菜で、特にカルシウムが豊富に含まれており、その量は牛乳以上です(小松菜100g(約1/3束)には170mg、牛乳100gには110mgのカルシウムが含まれます)。また、材料のひとつであるまいたけには、摂取したカルシウムの吸収を助けてくれる働きをもつビタミンDが豊富に含まれています。さらに、牛肉などのたんぱく質が多い食品に含まれるリンという栄養素もカルシウムの吸収を助けてくれます。

ただ、カルシウムだけを意識するのではなく、バランスを考えいろいろな食材と一緒に食べることも大切です。

管理栄養士 室岡 みほ